

BS秋田—7
令和2年6月10日

日本ボーイスカウト秋田県連盟
団 委 員 長 各 位

日本ボーイスカウト秋田県連盟
理 事 長 田 村 広 美

新型コロナウイルス感染への対応について

三指 日頃はボーイスカウト活動にご尽力いただきまして誠にありがとうございます。

さて、第2回理事会におきまして、6月4日付日本連盟発、コロナウイルス対策（第9報）の内容を受け、秋田県連盟の活動の基準（方針）の策定に関する協議が行われました。

第9報の2-③、④項に、対応基準策定の判断をそれぞれの地域の学校での対応を参考にすることとあり、特に「部活動」の実施可否状況がスカウト活動を行う上での大きな目安になるとあります。

秋田県教育庁生涯学習課のボーイスカウト担当者に県内の、特に小中学校の「登校状況」、「授業状況」「部活動状況」を電話で聞き取りしました。結果は、すべてコロナウイルス以前とほぼ同じ状況で（3密を避ける、マスク着用は別です）動いているとのことでした。能代市や由利本荘市、大仙市のスカウト関係者にも直接聞いてみましたが同じような回答でした。

6団の団委員長からは、団で作成した、宿泊を伴うプログラム活動時における、コロナウイルス感染防止対策が提示され、会津理事より説明がなされました。万全に近い対策であるとの評価が理事会でなされ、6団モデルを参考に秋田県連盟の「新しい生活様式」の活動基準を策定することとしました。

今後は、日本連盟のガイドラインや秋田県連盟の「新しい生活様式」の活動基準を順守しながら活動を少しずつ再開されますようお願いいたします。

なお、これからの状況により基準が見直される場合もありますことをご承知おきください。

弥 栄